

WASAN

～かわら版～

NPO法人 和算を普及する会 会報 vol.2

【1】 関孝和三百年祭と第10回算額をつくろうコンクールを迎えて

NPO法人 和算を普及する会 理事長 佐藤健一

今年、日本が生んだ最初の世界的数学者関孝和が亡くなって300年の記念すべき年です。数年前から、日本数学史学会、日本数学会をはじめ、いくつかの団体が協力してその記念の事業を計画してまいりました。そして、まず300年忌の法要を昨年12月2日午前11時より新宿区弁天町にある常楽山浄輪寺で執り行いました。遠方からも多くの数学者や数学史家が集まり、天候にも恵まれて無事に終了しました。続いて、午後からは東京理科大学1号館講堂で「関孝和先生三百年忌を機会に日本の数学力を考える会」の集まりが行われ、各分掌の発表や意見の交換が行われました。



〔 H19. 12. 2 関孝和三百年忌法要 〕

また、今年の1月19日(土)から3月2日(日)までは新宿歴史博物館で「関孝和と和算の世界」特別展が開催され、これを皮切りに、3月6日(木)から4月10日(木)までは東京理科大学近代科学資料館、4月15日(火)から5月18日(日)までは大阪なにわの海の時空館、ほぼ同時期の4月26日(土)から6月1日(日)までは岩手県一関市博物館、8月21日(木)から11月3日(月)までは再び東京理科大学近代科学資料館で、展示、講演などを行います。さらに、11月からは国立科学博物館でも、関孝和を含めた日本の数学者たちの展示が計画されています。

「算額をつくろうコンクール」は、皆様のご協力をいただき今年で第10回を迎えました。算額奉納は江戸時代に栄えた数学文化です。この形式で問題を自由に作って作品として応募していただいています。今年の表彰式は3月9日(日)に、江戸東京博物館ホールで開催する「和算にまなぶ」の中で行います。

当時も数学の問題は誰かが作り、多くの人たちが解いています。問題を出し合って解くことは楽しいことだったのです。これが現代では、問題を解けるか、解けないかということに重点が置かれてしまっています。他の人が作った問題を解くことも力を付けるために必要でしょうが、自分から問題を作ることも大切な力を付けることにつながっているのです。

江戸時代の初期には算額奉納の風習が始まっていました。明治時代や大正時代に入っても続いています。この「算額奉納」の風習は世界中で日本にしかありません。現代の小学校・中学校・高等学校の皆さんにも体験してもらおうと、10年前に和算研究所が本コンクールを始めました。その後NPO法人和算を普及する会が引き継ぎ現在に至っております。去年は江戸の鎮守神田明神から奉額を承諾していただき、去年の応募作品から優秀作品4点を選んで1枚の算額にしました。絵図は当スタッフが作成しましたが、字は書家の松川玉堂氏を煩わせました。そして、生徒ともどもこの算額の奉納式を行いました。算額は正面の門に入って左側の場所に掲げられており、奉納作品は毎年この場所に掲げられることになっております。



NPO WASAN

【2】第10回 算額をつくろうコンクール 入賞者紹介

● 審査委員長：杉山吉茂（東京学芸大学名誉教授）

● 応募総数：509点

【金賞・関孝和賞】

浅田 萌々子 広島県 広島大学附属東雲中学校
望月 知里 東京都 学習院女子中等科
産賀 智稔 東京都 聖心女子学院高等科
二井 綾花 東京都 聖心女子学院高等科

【銀賞・建部賢弘賞】

尾崎 祐介 広島県 広島大学附属東雲中学校
上條 由莉 東京都 聖心女子学院高等科
森國 涉 東京都 早稲田中学校
小池 紗恵子 東京都 豊島岡女子学園中学校
南部 理奈 東京都 学習院女子高等科
内海 紗佳 東京都 明治大学付属中野八王子
中学校

【銅賞・吉田光由賞】

Eleanor Mehlenbacher
U. S. A. Exploris Middle School
岡本 ひろな 東京都 豊島岡女子学園中学校
土屋 奈央 東京都 豊島岡女子学園中学校
中嶋 真由子 東京都 豊島岡女子学園中学校
熊谷 紗綾 東京都 聖心女子学院高等科
鈴木 悠仁 東京都 中野区立桃丘小学校

【銅賞・下平和夫賞】

理数ゼミ数学班 広島県 広島国泰寺高等学校
中西 春霞 東京都 豊島岡女子学園中学校
宮崎 紘子 東京都 豊島岡女子学園中学校
中野 知行 東京都 中野区立桃丘小学校
余語 孝夫 東京都 筑波大学附属駒場高等学校
大澤 薫 東京都 慶應義塾中等部

【特別賞】

長田 恒子 東京都 国分寺市

【奨励賞】

Amelia Storck U. S. A. Exploris Middle School
岸 平祐 広島県 広島大学附属東雲中学校
小西 季衣 広島県 広島大学附属東雲中学校
橋本 大 広島県 広島大学附属東雲中学校
石井 智弥 広島県 広島大学附属東雲中学校
三原 康司 兵庫県 県立宝塚東高等学校
高木 修一 兵庫県 県立宝塚東高等学校
鈴木 香帆 岐阜県 岐阜市立加納中学校
深尾 優貴 岐阜県 岐阜市立加納中学校
牧野 雅史 岐阜県 岐南町立岐南中学校
大方 亮裕 神奈川県 桐蔭学園高等学校
遠藤 愛 東京都 中野区立桃丘小学校
安波 絢子 東京都 実践女子学園中学校
内島 悠美子 東京都 実践女子学園中学校
小川 真実 東京都 実践女子学園中学校
床爪 佑司 東京都 早稲田中学校
沼倉 拓哉 東京都 早稲田中学校
櫻田 紘基 東京都 早稲田中学校
市瀬 紗梨 東京都 慶應義塾中等部
永瀬 春花 東京都 慶應義塾中等部
大橋 浩平 東京都 慶應義塾中等部
狩野 愛実 東京都 聖心女子学院高等科
山内 ももこ 東京都 聖心女子学院高等科
永井 美奈子 東京都 聖心女子学院高等科
種子田 三千香 東京都 聖心女子学院高等科
兼元 とよ子 東京都 聖心女子学院高等科
須賀 智子 東京都 豊島岡女子学園中学校
吉本 恭子 東京都 豊島岡女子学園中学校
朝倉 佑実 東京都 豊島岡女子学園中学校
斎藤 悠里 東京都 豊島岡女子学園中学校
村田 絵里香 東京都 豊島岡女子学園中学校
小松原 航 東京都 筑波大学附属駒場中学校
竹内 優美子 東京都 学習院女子中等科
周 悠里 東京都 明治大学付属中野八王子
中学校
石川 昌子 埼玉県 川越市

§ 応募者感想アンケートより

図形をいつもと違う視点で見ることができたのが面白かった。図形ができて答えが求められなかったり、解き直すと答えが違ったりして、たくさん悩むときがあった。最後、配色ですごく悩んだりいろいろとあったけれど、できあがったときはそれまでの苦労を忘れるくらい嬉しかった。高校生になって新しい解き方を習ったら、また算額を作りたい。(中3 H・S)

【3】「算額をつくろうコンクール」優秀作品、神田明神へ奉納

- 日時：平成19年10月27日（土） 午後2時より
- 場所：東京都 神田神社（神田明神）

算額とは、絵馬と和算が融合して生まれたものである。したがって、社寺の絵馬堂などに絵馬と同じようにして掲げられているものが多い。なかには天井や鴨居の上に掲げられているものもある。ただ、もともとそこに掲げられていたかは定かではないが…。算額奉納が過熱してくると、自分の力を誇示するため、社寺などの人目につくところに掲げる人も増えてきたという。この算額奉納競争は、和算すなわち我が国の数学の発展・普及に大きな影響を与えたことは確かであり、身分に関係なく多くの人々が加わって江戸時代からの和算文化の輪を広げた。震災や戦争などで多くが焼失したのに、現在でも復元算額も入れて全国に約900面あることを考えると、当時は相当数の算額が掲げられていたことが皆さんにも想像できると思う。

現在では、中高校生が算額をつくって奉納することを愛媛県などで行っている。

「算額をつくろうコンクール」の優秀作品を都内の社寺に掲げては、ということが数年前より議題となっていた。昨年、東京都の神田神社（神田明神）が「算額をつくろうコンクール」優秀作品の算額奉納を快く引き受けてくださった。神田明神（江戸総鎮守）には、江戸期にいくつもの算額が掲げられていたそうであるが、大震災・空襲等で焼失してしまったと宮司様からお話がありました。そんなこともあってか、今後も中高校生のために場所を提供して下さるという。掲載場所は、正面の山門に入って左手の絵馬堂内である。第9回コンクールの金賞の4名（大下里奈子、辻賢太郎、水野文裕（以上高校生）、床爪佑司（中学生））の作品を1枚の板に書き写した算額の奉納式は、10月27日に行われた。

奉納式の当日は、台風接近の影響をうけてあいにく朝から雨模様で、式の始まる頃には風雨が一段と強まってきた。参加予定の学生や関係者は来られるのだろうかと心配もしたが、高校生2名、中学生1名とご家族2名、それと佐藤健一理事長、矢嶋邦男先生、牧下英世先生、私の計9名が奉納式参加のために集まった。暴風雨のため渡り廊下を通るとき算額を濡らさないようにするのが大変であった。午後2時から予定通りご家族2名を除く7名が広い本殿の中央に上がり、学生3名と佐藤理事長が玉串奉奠を行うなどして無事に奉納式が営まれた。外の風雨が嘘のように静かで厳粛に行われた。終わったあととても爽やかな気分になった。

算額を掲げるには、絵馬堂に掲載のための留具の設置が必要なため、その後約1ヵ月かかったが、現在では写真のように絵馬堂の壁に掲げられている。今年ここに、次の優秀作品が並べて掲げられるのを楽しみにしている。ぜひ、多くの中高校生にチャレンジしていただきたい。見に行かれる方のために、神田明神の場所を記しておく。 [文責：渡辺暉夫]

（神田明神：東京都千代田区外神田2-16-2，JRお茶の水駅聖橋口より徒歩4分。聖橋を渡った湯島聖堂の先）



【4】事務局からのお知らせとご案内

平成19年度 活動報告

《 ①数学教育事業 》

○ 第10回 算額をつくろうコンクール

509点の応募作品から、平成20年2月10、11日に審査を行い、下記の入賞者を選考しました。
表彰式は、平成20年3月9日午前10時より東京都江戸東京博物館に於いて行います。（詳細は2頁）

金賞・関孝和賞	4名	銀賞・建部賢弘賞	6名
銅賞・吉田光由賞	6名	銅賞・下平和夫賞	5名+1グループ
特別賞	1名	奨励賞	35名

《 ②和算普及啓発事業 》

- ・全国算数・数学教育研究（高知）大会〔高知大学附属中学校〕平成19年8月2日のワークショップで、和算の体験活動と紹介を行いました。
- ・和算入門講座〔東京都／ジュンク堂書店 池袋本店〕平成19年10月27日に「もう一つの和算」の講演会を行いました。
- ・和算入門講座〔東京都／ジュンク堂書店 新宿店〕平成19年12月7日に「江戸時代の数学」の講演会を行いました。
- ・算額奉納〔東京都／神田明神〕平成19年10月27日に、第9回算額をつくろうコンクールの金賞・関孝和賞作品を算額にして奉納しました。（詳細は3頁）

関孝和三百年祭記念事業関連

関孝和先生三百年忌の法要が、平成19年12月2日（日）に新宿区の浄輪寺で営まれました。
（三百年忌法要の様子は下記ホームページで紹介しています。）
今後、各地で関連行事が開催される予定です。（詳細は1頁）

平成20年度 活動予定

- * 「算額をつくろうコンクール」（第11回）
- * 算数・数学の教科書における取り上げ方の実態調査継続
- * 機関誌の発行、和算啓発の講演会や講習会の実施。
- * 『勤者御伽双紙 下巻』の刊行
- ～ 講座開催のご案内 ～
- * 第4回 全国和算研究大会
（平成20年8月23～24日 於：群馬）
- * 和算入門講座 平成20年10、12月 開催予定



〔H19. 10. 27ジュンク堂書店での入門講座〕

NPO法人和算 会員募集中！

現在、和算を普及する会では、普及活動を拡大していくためにも会員を募集しています。お知り合いや同じ職場内で、あるいは和算に関心のある方（ない方も）にお声掛けいただき、入会を希望される方を事務局まで、FAXかメールにてお知らせください。入会兼振込用紙をお送りいたします。なお、一般会員の年会費は3,000円です。学校会員（年会費5,000円）も受付けています。（お問合せは下記事務局まで）

編集後記

関孝和三百年忌法要の年に、「算額をつくろうコンクール」の作品を神田明神に奉納できたのも何かの縁ではないかと思っています。これからも和算文化の継承を本誌を通じて呼びかけ続けたいと思います。また、本誌タイトルデザインを考案いただいた半田政江氏にはこの場を借りて御礼申し上げます。〔I〕